

んで、その角を又同じしよーに、裏え折るかえして、前まへに折つた角を圖かどのよーに引きかえすのです、(第六圖)

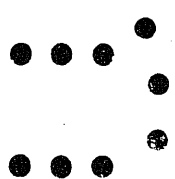
次ぎわ始め同じ方はたへ前のよーに二度折つて、三度目に裏え折るかえし、それから始めに折つた方、八つを引きかえすのです、これわ蓮の花はなです。(第七圖)



馬車遊ばしやあそび

皆みなさん、一つ面白い遊あそびをお知らせ致いたしましたよ。これは五人でも十人でも二十人でも、幾人あつても宜よろしい。そこで、まー假かに十人としましょー、其中そのうちで、一人は御者ごしやになつて、真中まんなかに立つて居ゐらつしやい。残り八人は、乗客じやくかくになつて、ぐるつと椅子いすに腰こしをかけなさい。そして残りの一人は、

八人腰こしをかけて居る周圍ぐるりで、どこでも適當はじな所に立ちん坊ぼくになつてふらついて居るのです、この人には椅子いすがありません。まーざつと、次の圖ちうの様ようになります



そこで、遊あそびを始めるのですが、始めに御者ごしやが出て來て、一々お客きやく様に名前なまへを附つけるのです。何でも勝手かたてな名前なまへで宜よろしい。假令たとへば、犬、猫ねこの子こ、切符きりふ、娘むすめ、坊ちゃんぼくちゃん、レール、石いし、鶏とりなど種々いろいろにつけて置く、附つけられた人は、各自おのづか自分の名前なまへを覺おぼえて居ゐらなければなりません。

それから 御者ごしやは皆みなに向むかつて話しを始めるのです。所ところで其話そのはなしの中に、度々たびたびお客きやくに附つけた名前なまへが出て來きます。すると其名前そのなまへが話はなしの中なかに出でた人は、出

るや否やすぐ立ち上つてぐるりと二度廻つて腰を掛ける。お仕舞に御者が、何かの拍子で「馬車がひっくり返った」といった時に、お客が皆總立ちになつて一度にぐるぐると三度廻はつて腰を掛ける。そーすると、彼の周圍にボンヤリして居つた立ちん坊は、どこでも皆が廻はる隙を見て勝手な場所を占領するのです。八人がくるくく廻はつてさて、腰を掛け様とすると、其爲に一人椅子がなくなつて、腰掛けられない。そーすると其人は、今度御者になり前の御者が代つて立ちん坊になります。そこで、新しい御者は、又更にお客に勝手な名を付けて、其名が度々顯はれて來る様な話をして、前の様にするのです。

ですから話は、何でも宜しい、すぐ其場で造り出すのです。例令げ前の名前ですと。

「私が此間友達の所へ行きました所が、其家に一匹犬（犬の名の人立ち上つて廻はる）が居まして私に吠え附きました。すると鶏が（鶏の人立ち上つて廻はる）吃驚して飛び出すやら、猫の子がお嬢さん（猫とお嬢さんと回はる）の膝からかけ出すやら、坊ちゃん（坊ちゃん立つて廻はる）が泣き出すやら大騒ぎでした。それから歸りには、切符（立ちて廻はる）を買つて、馬車に乗りました所が、レール（同じく）に石（全じく）がのっかつて居ましたので、忽ち馬車が引つくり返りました（皆立ち上つて廻はる）これは話しがなるべく短かくて、そして名前が何度も出てくるのが宜しいです。又瀛車にしても瀛船にしても宜しい。やつて御覽なさい、余程面白いです。